



2023（令和5）年度

# 二中だより



第25号

2023（令和5）年9月29日 発行責任者 加賀谷 登

## 高校・高専進学説明会お世話になりました！



昨日（9月28日）、令和5年度高校・高専進学説明会を行いました。日中、ご多用の中、ご参加くださりありがとうございました。

今年は、阿南市内とその周辺の高等学校・高等専門学校7校をお招きしました。それぞれの学校の特色をわかりやすく説明をしていただきました。

今回の説明会を通して、自分に合った高校を選んで、合格目指してしっかりと勉強に励んでほしいと願っています。

中学生にとって、高校選択は、初めて出会う人生の分岐点です。迷い悩む子どももいると思います。そんな時、保護者の皆様には、お子様の進路選択に対して適切なアドバイスをしてあげてほしいと思います。よろしくお祈りします。

日	曜	10月の行事予定
1	日	南部Bブロック新人大会
2	月	県市合同学校訪問
3	火	
4	水	3年生第1回基礎学力テスト
5	木	体育祭結団式 前期終業式
6	金	秋季休業日 英検8：30～
7	土	南部Bブロック新人大会
8	日	
9	月	スポーツの日
10	火	後期始業式
11	水	
12	木	ノ一部活デー
13	金	体育祭予行
14	土	
15	日	
16	月	市中学校駅伝大会 午前中4時間授業（給食有り）
17	火	
18	水	
19	木	二中祭（体育の部）
20	金	二中祭（文化の部）
21	土	
22	日	
23	月	
24	火	
25	水	
26	木	
27	金	県中学校統一研究大会（臨休）
28	土	
29	日	
30	月	科学センター理科学習3-1
31	火	科学センター理科学習3-2

## 南部Bブロック新人戦に向けて

明日から（9月30日）、いよいよ南部Bブロック新人大会が始まります。大会を控えて、各部活動の練習も力が入ってきました。

新人戦から合同チームの枠組みが変わった部活動もあります。各校の行事等の都合もあるので、なかなか一緒に練習時間の確保が難しい面があります。そんな中でも、一緒に練習できる時は、コミュニケーションをしっかりとって頑張っています。精一杯頑張ってきてほしいと思います。

インフルエンザが流行しています。大切な試合前です。感染予防もしっかりしてください。



毎月第一日曜日は、家庭人権学習の日です。資料をもとに各ご家庭でぜひ話し合ってみてください。今回は、「相手をリスペクトする」ことについて考えてみてください。

2023年は、大谷翔平選手で始まったといっても過言ではありません。3月にワールドベースボールクラシック（WBC）が開催されました。アメリカメジャーリーグの大谷翔平選手やダルビッシュ有投手も出場するということが、開催前から多くの人々が関心を示し、実際多くの人々がテレビに釘付けになったようです。日本が準決勝に進出することが決まった段階で、急遽アメリカ行きのチケットを取った人も多かったようです。それくらい多くの人たちを夢中にさせました。

このWBCでは、試合はもちろんのこと、それ以外でも多くのことがニュースになりました。いち早く合流したダルビッシュ有投手の気遣いのこと、ヌートバー選手の生い立ちや日本との縁、佐々木朗希投手の気遣い、大谷翔平選手の「あこがれるのはやめましょう」・・・など。

そんな中で、日本チームの相手チームへリスペクトする態度や行動が称賛されました。いくつか紹介します。

- 佐々木朗希投手が、チェコ戦でデッドボールを与えた選手に帽子を取って謝罪をしたこと。日本では当たり前ですが、海外ではそのような文化はないそうです。このときデッドボールを受けた選手は、佐々木投手に大丈夫、心配いらぬということを示していました。この行動も絶賛されました。試合後、佐々木投手はロッテのお菓子を持って、直接謝罪に行ったそうです。
- 大谷翔平選手が、移動の際、チェコチームの帽子を被っていました。対戦したチェコチームをリスペクトしている証拠ですね。大谷選手はこの行動だけでなく、試合後のインタビューなどでも、相手チームをリスペクトする発言を必ずと言っていいほどしています。
- 準決勝メキシコ戦でサヨナラ勝ち後歓喜していましたが、しばらくして三塁線上に整列、脱帽して、日本のファンと一塁側のメキシコファンにも同じように深々と頭を下げました。
- 優勝決定後の表彰式で、アメリカ選手にメダルが渡されている間、日本チームの選手たちは、拍手を続けていました。

これらは、ごく一部の例です。大谷選手や佐々木投手以外にも、話題になった選手がいましたし、サッカーワールドカップで恒例となった、日本ファンの掃除も話題になりました。日本人としては、ごく当たり前の行動で、見慣れた光景でしたが、海外の人たちからすると、当たり前の行動ではなく、相手をリスペクトする行動と讃えられたようです。そして、これらの行動は、個人や日本チームだけではなく、日本人のマナーや日本文化として尊敬されていることを知っておかなければいけません。付け加えると、WBCに出場した日本人選手やチームだけではなく、国際大会が開催される度に、（日本人だけではなく）すばらしい態度や行動をとった人のことが紹介されています。

さて、そこでみなさんも自分たちの生活を振り返ってみてほしいと思います。相手をリスペクトした態度や行動がとれていますか。挨拶は大きな声でできていますか。挨拶されたら、大きな声で返事はできていますか。掃除は一生懸命できていますか。気がついたゴミは拾えていますか。相手を傷つけるような言動はしていませんか。友達の様子の変化に気がついていませんか。人間関係を良好にする基本は相手をリスペクトすること、思いやることです。振り返ってみてできていないことがあれば、ぜひ改めてください。

ぜひ試してみてください。

- ・家族の人たちのことをどれだけ知っていますか。
- ・友達や担任の先生のことをどれだけ知っていますか。
- ・大人は昔は子どもでした。子どものとき、大人に対して、どんなことを思っていましたか。
- ・子どもはいずれ大人になります。子育てや仕事を必ずするようになります。苦勞を見ておきましょう。